

図1. 症例3での医師の治療と鍼灸臨床

2・3年前に鬱病で精神科に入院後通院

抗鬱剤・抗不安剤の服用 → 時々再発し治らない

┌ 転医する ← 嘔気が出現 ← 薬を変えた ←

内科で鬱× 機能的胃腸障害、嘔気は薬の副作用
薬でなく自分で治す病態、頑張れと激励 → 薬 ↓

┌ 以前受診し良かった鍼灸治療に ← 症状悪化 ←

→ 一進一退の経過(治療回数に比例)

鬱であることの告知と専門医との併療の機会が問題

図2. 機能的胃腸症及び過敏性腸症候群と鬱

